

テック系スタートアップ
実証実験等支援助成

実証実験計画 8 件の採択を決定しました 本日より第 2 弾の募集を開始します

横浜市では、モビリティ、クリーンテック等のテック系分野における、革新的で成長性の高いスタートアップの事業化を支援するため、「テック系スタートアップ実証実験等支援助成」を実施しています。このたび、スタートアップの実証実験計画 8 件を採択しました。（募集期間：令和7年4月24日(木)～令和7年6月9日(月)）

採択されたスタートアップに対し、実証実験に必要な経費への助成（上限 200 万円）や、実証フィールドの調整、試作品等の開発や協業先・トライアル導入先に関するマッチング等、強力な伴走支援を行います。

また、令和7年7月25日(金)より、第2弾（助成金上限 100 万円）の募集を開始します。

1 採択について

採択計画 8 件（提案企業名の 50 音順）

	企業名/代表者/拠点所在地	実証実験計画
1	株式会社 Ani-lience 代表取締役 實廣 亜希子（横浜市中区）	ペットの歯周病早期発見のための、お口の健康チェックキット本生産検討
2	株式会社 ALITA 代表者 有田 征（廖 征）（横浜市神奈川区）	ミリ波の人感センサーを活用した孤独死防止等に取り組むための実証実験プロジェクト
3	株式会社 eBoard 代表取締役 木原 徳人・福島 大介（横浜市金沢区）	運転支援付き 1 人乗りモビリティの実証実験プロジェクト
4	うるたま株式会社 代表取締役 齊藤 絵美子（横浜市鶴見区）	ドローン向け高性能リチウムイオン電池の製品化を目指した新規コンセプト電極の開発と機能実証
5	株式会社 VISION IV 代表取締役 小関 智昭（横浜市鶴見区）	放射線計測器（半導体センサー）の試作品の実証実験
6	Quickry 株式会社 代表取締役 坪井 勇介（横浜市西区）	待ち時間の可視化と行列回避を実現する次世代整理券『Quickry』のユーザー受容性・UX・店舗収益モデルの実証実験
7	株式会社ゴードルブロック 代表取締役 田中 昭雄（東京都新宿区）	製造業における設計業務の円滑化の為の AI リアルタイムシミュレーションシステムの開発
8	ジンバイ株式会社 代表取締役 上田 英介（横浜市西区）	生成 AI を活用した社内文書データ入力・資産化支援 AIOCR『ジンバイ GenOCR』機能検証プロジェクト

【参考：採択されたスタートアップによる実証実験の実施期間】
採択日（令和7年7月25日(金)）～令和8年2月末日

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 スタートアップ向け第2弾の提案募集・概要について

募集概要

1. 募集対象

テック系分野の製品やサービスの事業化に向けた実証実験等（実証実験の前提となる調査・開発等を含む。）を横浜市内等で実施することを計画するテック系スタートアップ等で、横浜市内に拠点を設置している、又は令和7年度末日までに、横浜市内に事業拠点を設置するもの。

2. 対象事業

モビリティやクリーンテック等テック系分野で先進的かつ独自の技術を用いるもの

【対象例】

ロボティクス、航空宇宙、環境、エネルギー、電子機器、半導体、量子、バイオテクノロジー、医療機器、新素材、AI など

3. 募集期間

令和7年7月25日(金) 10時～令和7年9月24日(水) 17時

4. 募集要項・応募方法

横浜市電子申請届出システムからご申請ください。

募集要項は、下記のウェブページに掲載しています。

https://www.city.yokohama.lg.jp/business/keizai/iot/tech-poc/poc_subsidy.html

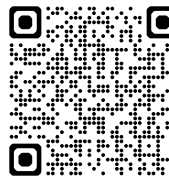
<応募申請フォーム>



5. 助成金限度額・助成率

助成金上限 100万円、助成率 2/3

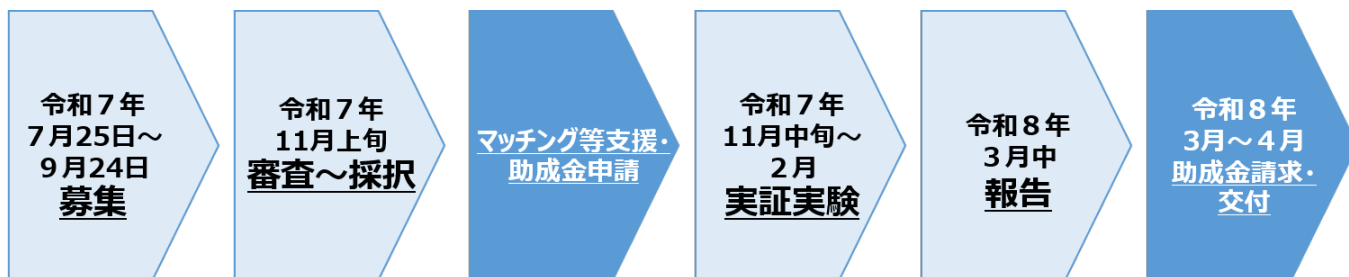
<募集要項等掲載ページ>



6. 採択件数

4件程度

事業スケジュール



※本件は、経済記者クラブへも同時発表しています。

お問合せ先

経済局 イノベーション推進課担当課長 高木 秀昭 Tel 045-671-4904



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷